

HOPES

ホープス セカンド

2nd

今年4月に開園した村立認定こども園「までの里のこども園」の3歳児クラス「たいよう組」で保育補助を務める大久保さん。長男の昊君（こう）の入園と同時に仕事を始め、2か月が過ぎました。

「人数が少ない分、子ども達のがびのびと、落ち着いて過ごせると感じました」。こども園の環境も気に入る、夫の昌紀さんからも「応援する」と言わ

人のやさしさに触れながら

大久保 亜季美さん（大久保・外内）



村立認定こども園「までの里のこども園」で保育補助を務めています。大久保さんの再就職と同時に長男の昊（こう）君も入園。一緒に通勤・登園をしています。



昊君は「はな組」さん。3歳児の「たいよう組」を担当する亜季美さんとは日中ほとんど顔を合わせませんが、3歳未満児のお部屋でお友達と仲良く過ごしています。

これ、新しい仕事に挑戦することを決めたそうです。「協力がなかったら難しいです」と感謝。昊君が体調をくずした時には、昌紀さんのご両親が、リフォームしたばかりの村内の自宅で預かってくれたそうです。

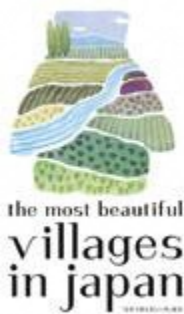
こども園で元気に過ごす昊君ですが、お迎えの時には待ち兼ねたように「ぎゅーっ」としてくるんです。頑張っている昊君と過ごす時間も、これ以上に大切にしています。

福島市の出身で、震災後に結婚した大久保さんにとって、実は初めての飯館ライフです。「村の方はやさしいです。福島は近所付き合いも少ないですが、本当にやさしく接してくれるので話しやすい」と感じています。「先生方もやさしくて働きやすい。人間関係が苦じゃないんです。こんな気持ちで働けるのは初めて」とのこと。これからも村の子ども達の笑顔のため、子育てとの両立、頑張ってくださいね。

へ編集後記

●村が昨年制作したVR映像が、ドイツで開催されたワールドメディアアフエスティバルで金賞をいただきました。震災から復興へ向かう村の動きを最新技術で撮影し、世界に配信しています。受賞式では「今、福島はどうなっているの」と世界各国の方から声をかけていただきました。改めて、世界中から応援、注目されているんだと実感。広報として、村を発信する使命をピシシと感じて帰国しました。ダンケシーン！※ドイツ語でありがとうの意味です。（木幡）

●松塚地区のあるお家で、庭に積まれた砂の上に、スノードロップ（マツユキソウ）が咲きました。移植しようと掘ってみたら、白い茎がどこまでも…球根は元の地面にあり、地上を目指して伸び続け、花を咲かせていたそうです。「これは大変」と埋め戻した彼女。「何だか励まされたんだ」と教えてくれました。その優しさにホレながら、見えない所で頑張つて、黙って咲いた白い花に、村の人達の姿が重なりました。春を告げる花です。（星）



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。